

さんぽほほ



特集：関係人口と山北をつなぐ「百姓やってみ隊」

2019

3.15

表紙写真：10月14日（日）大毎稲刈りツアーに参加



地域のタカラ



少子高齢化が進む山北地区にとって、子どもたちは地域の宝！山北で子どもが産まれた話を聞くと、嬉しくなりますよね！このコーナーでは、今年度産まれた山北地区在住のお子さんをご紹介します。



◇佐藤 喜心 くん

◇男の子

◇大毎集落

◇平成 30年 8月 11日 生まれ

◇ご両親：佐藤 大喜さん・まどかさん

出産に42時間かかったという喜心くん。ご両親は、男の子だったら5世代に渡り受け継がれている「喜」の漢字を入れようと決めていたとのこと。

喜心くんは、パパとお風呂に入るのが大好きなんだそうです。

ご両親は、元気で、たくましく、友達がたくさんいる子に育ててほしいと願っているそうです。

【編集・発行】

山北地区まちづくり協議会
＜事務局＞

〒959-3993 新潟県村上市府屋232番地（村上市山北支所内）

電話：0254-77-3111 FAX：0254-77-2217

メール：s.shinko-chiiki@city.murakami.lg.jp



まち協からのお知らせ

2019年度百姓やってみ隊(山北地区内隊員)募集!

百姓やってみ隊は、市外からの参加者のほかに、応援隊員として地元の人にも参加いただいています。
 この度、新年度百姓やってみ隊の山北地区内隊員を募集します。
 応募要件は特にありません。ご応募、お待ちしております!

【活動内容】
 市外からの参加者と一緒に農作業や生業体験をしていただき、農作業に詳しい方には指導をしていただきたいと思います。活動日は土日で、年間10回程度を予定しています。

【参加費】
 1回の活動につき1,000円

【申込み】
 山北支所地域振興課自治振興室(まち協事務局) 電話:0254-77-3111
 ※平成31年4月19日(金)まで



地域づくり団体等活動支援助成金を改正しました!

地域づくり団体等活動支援助成金については、前回の改正から5年が経過します。
 これまで、利用促進措置としてソフト事業に対しては一律7割助成を行ってきましたが、今回以下のように改正を行いました。
 申請を希望する団体は、山北支所自治振興室(まち協事務局)までお問い合わせください。

助成対象事業	助成金の額	
	助成初年度から5年以内	助成初年度から5年以降
(1)地域の課題解決、地域活性化が期待できる事業	・10分の7以内	・10分の5以内 ・既存の活動を拡充する場合、10分の7以内
(2)人材の育成に寄与する事業	・10分の10以内、1事業あたり10万円以内	・10分の7以内 ・既存の活動を拡充する場合、10分の10以内
(3)その他地域コミュニティの維持、発展が期待できる事業	・10分の7以内	・10分の5以内 ・既存の活動を拡充する場合、10分の7以内

「田園回帰」という言葉があります。都市部から人の移住・定住の動きが活発化している現象を指すのだそうです。
 近年では、田舎暮らしに憧れる人が増えていますが、その人たちが田舎に住みたい理由のひとつに「農業をしたい。」というものがあるそうです。
 しかし、田舎暮らしをしたいと言っても、いきなり移住できる人はそれほど多くありません。移住を決定するまでの間に、いくつかのステップを踏んでいるはず。そして、そのステップを踏んでいる人たちが、移住はできないけれど、ふるさと納税などにより地域とさまざまな形で関わる人たちが「関係人口」と呼ばれるようになりました。



「百姓やってみ隊」は、山北をフィールドとして農業体験や生業体験を提供している事業であり、前述したような移住へのステップのひとつと言える取り組みではないでしょうか。
 また、生業体験では、積極的に地域の皆さんと接する機会を作っており、市外の参加者と地域が関わりを持つきっかけになっています。
 今回の「さんぽぼ」では、そんな「百姓やってみ隊」にスポットを当ててみます!



「百姓やってみ隊」は、旧山北町時代の平成13年に、町が配偶者対策として始めた事業です。そのため、当初は若い人たちが参加対象としていましたが、平成18年からは団塊の世代も対象とするようになり、配偶者対策から定住対策へと重点を移し、現在に至っています。
 近年は、半家が自家消費のためのお小さな農業、もう半分は好きな仕事をする「半農半エックス」というライフスタイルが注目されています。
 最近では、百姓やってみ隊もこの「半農半エックス」をコンセプトとして、半分は農業体験、もう半分は郷土料理づくりや自然体験などの生業体験を織り交ぜて活動しています。
 今年度は、市外から11名の参加があり、5月から2月にかけて合計9回の活動を行いました。
 また、今年度からの新たな取り組みとして、活動日以外の好きな時に山北に来て、自由に山

百姓やってみ隊って?

→ 今年度の百姓やってみ隊活動実績

回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回										
期日	5月19日	5月20日	6月16日	6月17日	7月14日	7月15日	8月4日	8月5日	9月15日	9月16日	10月13日	10月14日	11月10日	11月11日	12月11日	12月2日	2月2日	2月3日	
内容	・畑への種まきと苗植え ・畑作り見学	・大毎田植えツアーに参加 ・畑の管理作業	・畑の管理作業 ・玉ねぎ収穫	・笹川流れの遊覧船乗船と散策 ・イカの塩辛と干し魚作り	・焼畑の準備(杉の葉搬入) ・そばの種まき	・ジャガイモ、ニンニク収穫 ・小俣川でカジカ捕り	・収穫した野菜を郷トラ市で販売 ・畑の管理作業	・焼畑と赤カブの種まき ・エッセンシャルオイル作り	・林業体験 ・乗船&釣り体験	・日本国登山体験 ・収穫した野菜を郷トラ市で販売	・赤カブ漬作り体験 ・赤カブ漬作り体験	・大豆、サツマイモ、赤カブ収穫 ・大毎稲刈りツアーに参加	・大川のソド魚見学 ・長ネギ、赤カブ収穫	・さんぽく祭で野菜販売 ・味噌づくり体験	・そば打ち体験 ・餅つき、きな粉作り体験	・白米、キャベツ、大根等収穫 ・味噌づくり体験	・あく餅つき作り体験 ・大毎水汲みツアーに参加		

北暮らしを体験してもらう「じっくり百姓やってみ隊」というメニューも提供しています。